日本社会心理学会
第49回大会プログラム

鹿 児 島 大 学 ・ 志 學 館 大 学
鹿 児 島 女 子 短 期 大 学
2008年11月2･3日（会場：かごしま県民交流センター）

会場案内

■　大会会場への交通案内

大会会場：かごしま県民交流センター（右図参照）

〒892-0816　鹿児島市山下町14-50

TEL　080-6404-5028（この電話番号は大会当日のみ有効です）

1．鹿児島空港より

リムジンバスの利用の場合

鹿児島中央駅直行便利用者は，「市役所前」下車（所要時間約50分），徒歩約５分

吉野経由および伊敷経由利用者は，「金生町」下車（所要時間約55分），徒歩約15分

2．鹿児島中央駅より

市　　電 ： 鹿児島駅前行き「水族館口」電停下車（所要時間約10分，片道160円），徒歩３分

バ　　ス ： 市営バス（東11・12・13のりば）「水族館口」下車（所要時間約10分，片道180円），徒歩5分 （一部，「県民交流センター前」に着くものもあります）
※ただし，市電・バスの運行につきましては，３頁の注意をお読みください。

タクシー ： 会場まで（所要時間10分，片道約1,000円）

■　懇親会会場への交通案内

懇親会場：鹿児島サンロイヤルホテル（右図参照）

〒890-8581　鹿児島市与次郎1-8-10

1．送迎バス利用の場合
かごしま県民交流センターより約20分
※当日は「おはら祭り」前夜祭と重なり，交通渋滞が予想されます。なるべく送迎用バスをご利用ください。当日，大会会場にて案内します。

2．空港よりリムジンバス利用の場合
鴨池港行きに乗車し，「与次郎一丁目」下車（所要時間約70分），徒歩２分

3．タクシー利用の場合
かごしま県民交流センターより約10分（片道約1,000円）

鹿児島市中央部

注意

11月２日（大会１日目）は，「おはら祭り」前夜祭と重なり天文館周辺（高見馬場交差点から市役所前）は交通規制が行われます。18:00～21:30の時間帯，この区間の市電は運休となり，この区間周辺のバスは通常とは違ったコースをとりますのでご注意ください。

また、11月３日（大会２日目）は，「おはら祭り」本踊りの日で，前日と同じ区間で9:30～17:30は，交通規制が行われます（区間・時間帯については，2008年８月現在の予定です）。

会場案内

■会場案内情報

●受付・・・・・・・・・・・２階
●クローク・・・・・・・・・東棟３階
●休憩・談話室・・・・・・２階（中ホール），東棟４階
●展示コーナー・・・・・・２階（中ホール）
●総会・・・・・・・・・・・１～２階（県民ホール）

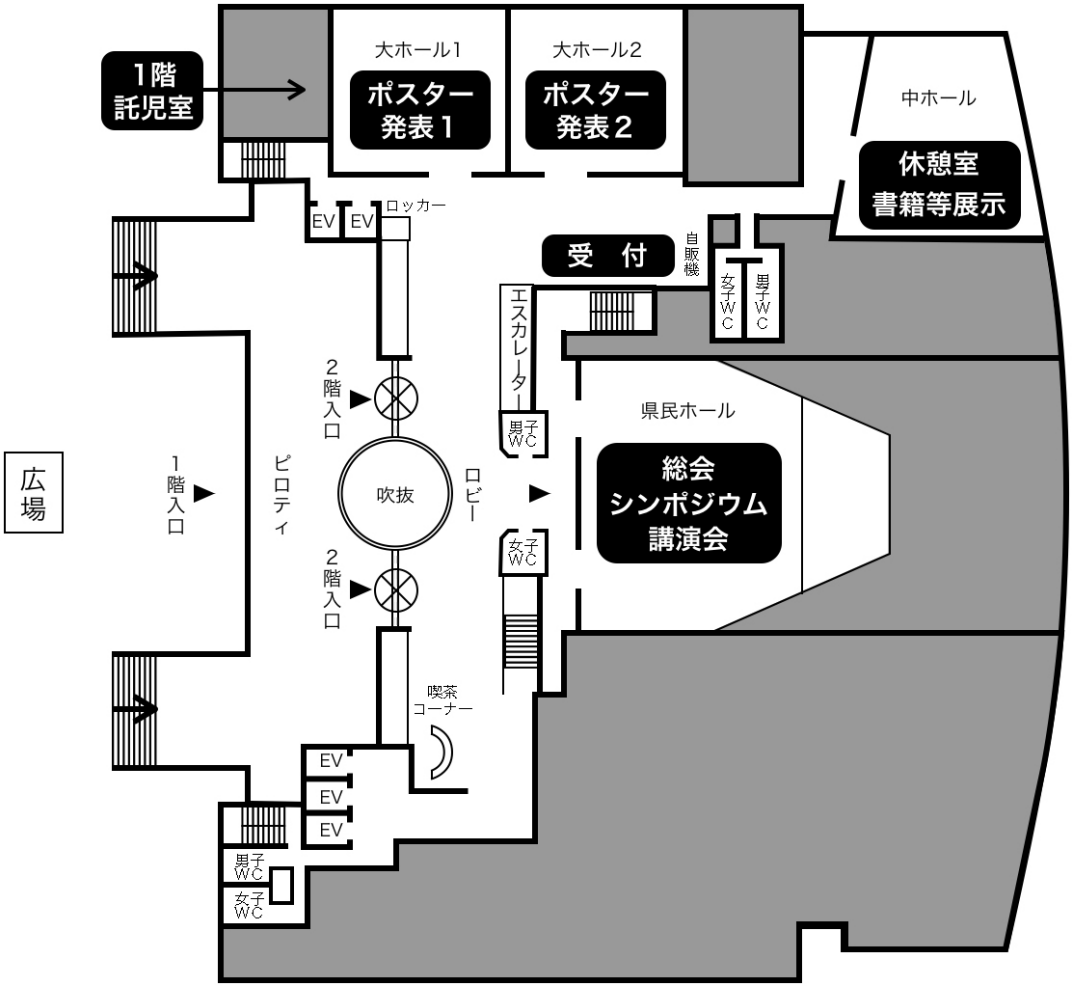
●大会本部・・・・・・・・東棟３階
●理事・講師控室・・・・・東棟４階

●託児室・・・・・・・・・・・・１階

●口頭発表・・・・・・・・東棟３階，４階
●ポスター発表・・・・・・２階（大ホール）
●ワークショップ・・・・・東棟３階
●特別企画シンポジウム・・１～２階（県民ホール）
●高校生向け講演会・・・・１～２階（県民ホール）

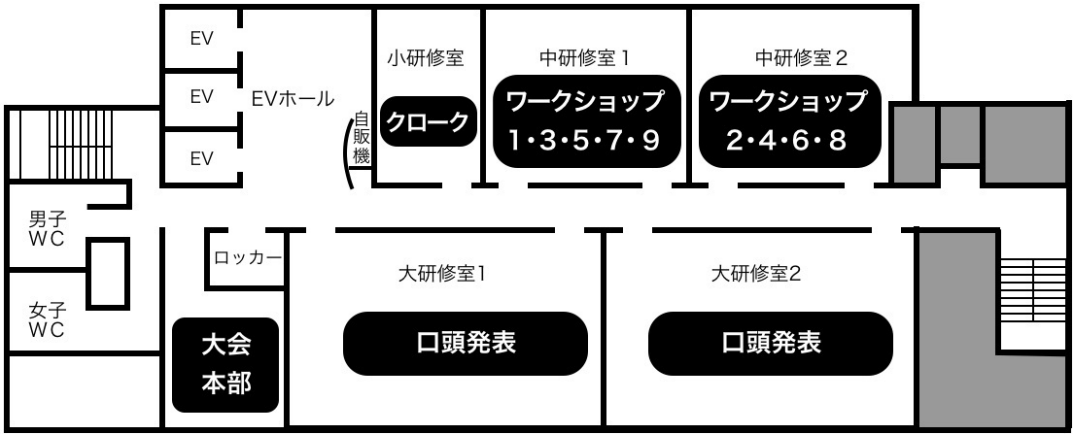
■会場２階平面図

･ポスター発表，総会，シンポジウム，講演，展示コーナー



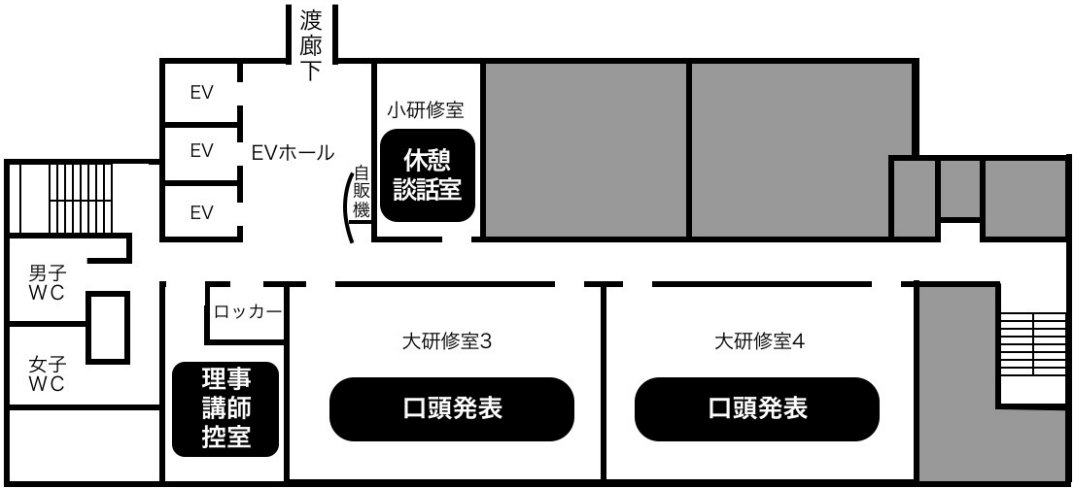
■会場東棟３階平面図

･口頭発表，ワークショップ，クローク，大会本部



■会場東棟４階平面図

･口頭発表，休憩・談話室，理事・講師控室



大会案内

大会についてのご案内

１．受付

第１日目（11月２日）は午前９時30分より，第２日目（11月３日）は午前８時30分より，２階ロビーにおいて受付を行います。大会会場内では，受付でお渡しする名札を必ずお付けください。

２．諸費用

①大会参加費（当日）	正会員（大学院生を含む）・臨時会員	7,000円
	学部学生	3,500円
②論文集購入費（当日）	個人・機関	6,000円
③懇親会参加費（当日）	一般	6,000円
	大学院生・学部学生	4,500円

３．総会

第１日目の11時45分より「県民ホール」（１～２階）で開催されます。

４．昼食

第１日目は，総会会場にお弁当を用意しております（無料）。また，第１日目・第２日目ともに，各人で昼食をとる場合は，別紙（大会当日受付で配布）にて会場近辺の店舗をご案内します。

５．クローク

東棟３階に設置します。お預かり時間は，第１日目は18時30分まで，第２日目は18時00分までとなっております。なお，貴重品は必ずご自身でお持ちください。

６．懇親会

第１日目の19時00分より，鹿児島サンロイヤルホテル（２頁案内および３頁の地図参照）で開催いたします。口頭発表・ポスター発表・ワークショップの終了時刻が17時30分となっております。多数のご参加をお待ちしています。懇親会会場へは大会会場より送迎用バスを準備していますのでご利用ください。なお，路線バスの利用はお勧めできません。

①送迎用バス：大会会場東玄関より乗車（所要時間約20分）

②タ ク シ ー：大会会場正面入り口で乗車可（所要時間約10分）

７．休憩・談話室

休憩・談話室は２階中ホールと東棟４階にあります。また，２階にはカフェテリアもございます。

８．展示コーナー

業者の書籍類・機器類の展示コーナーは２階中ホールに設けています。

９．諸連絡の掲示／コミュニケーション・ボード

２階中ホール（休憩室・展示室）に掲示板およびコミュニケーション・ボードを設置いたします。掲示板には大会本部からの連絡を掲示しますので，随時ご覧ください。また，コミュニケーション・ボードには，研究に関する事柄であれば自由に用紙をお貼りいただけます（研究会のお知らせ，研究書籍の案内等）。ただし，用紙には掲示いただく方のお名前とご所属を明記してください。ボード脇に文具類を用意しますので，ご利用ください。あらかじめご用意いただいた用紙を貼り付けていただいてもかまいません。

10．スタッフ・大会本部

スタッフは，目印となるものを身につけておりますので，遠慮なくご用を申しつけください。また，大会本部は東棟３階に設けます。緊急のご連絡の際には，本部にお越しいただくか，スタッフに声をおかけください。なお，会場外からの緊急の電話連絡は080-6404-5028までお願いします。電話連絡は大会運営に関することに限りますので，ご協力をお願い申し上げます。

11．理事会等

下記の日程により開催されます（場所は関係者へ別途連絡します）。

①学会賞選考委員会	11月１日	13:00-14:00
②編集委員会	11月１日	14:00-16:00
③学会運営を考える会	11月１日	14:00-16:00
④常任理事会	11月１日	16:00-18:00
⑤理事会	11月１日	18:00-20:00

発表者へのご案内

１．口頭発表

①　時間

１件あたり15分を割り当て，発表時間を12分，討論時間を３分とします。また，セッションの最後に15分の全体討論の時間を設けます。時間をお守りいただき，座長の指示にしたがって発表を進行させてください。合図は以下のとおりですので，ご注意ください。

１鈴10分経過

２鈴12分経過（発表終了）

３鈴15分経過（討論終了）

②　機器

各会場に，発表資料投影用の機材を準備します（液晶プロジェクター・スクリーン・パソコンを用意）。パソコンについては，OSはウィンドウズXP，アプリケーションはパワーポイント2003を搭載しています。これらの機材をご利用になる方は，データをUSBメモリでご持参ください。パワーポイント2003より新しいバージョンでファイルを作成される方は，あらかじめファイルの種類をパワーポイント2003以前のものに変更の上で，ご持参ください。発表時間を有効に活用できるよう，セッション前の休憩時間にデータをハードディスク上にコピーするようお願いします。データの消去はセッション終了後に各自で実施願います。なお，マッキントッシュ･パソコンは使用できません。

③　配布資料

セッション開始前に各会場のスタッフにお渡しください。スタッフが配布いたします。なお，大会会場での印刷はできませんので，配布資料は事前にご用意ください。

④　発表成立の要件

発表論文集への論文掲載に加え，発表と討論参加という条件を満たすことによって公式発表として認められます。プログラム中の〇印は連名発表の場合の責任発表者を示しています。

⑤　受付

発表受付は，各発表会場にて行っています。

２．ポスター発表

① 掲示

発表用ポスターは１件につき「幅90cm×高さ180cm」以内の大きさでご準備下さい。最上段に「題目」「氏名」「所属」を明記してください。文字の大きさは指定しませんが，ポスターにもとづく討論が円滑に行えるようご配慮ください。画鋲は会場に用意いたします。掲示の準備は，セッション前の休憩時間にお願いします。セッション終了後は，迅速に撤収していただくよう，ご協力お願いいたします。

② 在席責任時間

発表番号が奇数の方は前半の45分，偶数の方は後半の45分が在席責任時間です。原則として，この時間内は必ずポスターの前に在席してください。

③ 機器

ポスター発表において補助機器の利用を希望される方は，あらかじめ準備委員会にご相談下さい。ただし，ご希望にそえない場合もあります。

④ 発表成立の要件

発表論文集への論文掲載に加え，90分間のポスター掲示，指定された45分間の在席，質問者との個別討論という条件を満たすことによって公式発表として認められます。プログラム中の〇印は連名発表の場合の責任発表者を示しています。

⑤ 受付

発表受付は，各発表会場にて行っています。

３．連名発表者による代行と発表取消し

責任発表者がやむを得ない事情により欠席する場合，準備委員会の事前の承認を得て，連名発表者が発表を代行することができます。承認がない場合，正式な発表として認められないことがあります。また，口頭発表において発表の取消しがあった場合，その後の発表スケジュールの繰り上げは行いません。座長の指示にしたがって，討論や休憩等の時間にあててください。代行や取消しについては，早めに準備委員会までご連絡ください。

４．ワークショップ

①　時間

１企画全体で１時間30分となっております。企画者のもとで自由に進行していただきます。終了時間を厳守してください。

②　機器

各会場に，発表資料投影用の機材を準備します（液晶プロジェクター・スクリーン・パソコンを用意）。パソコンについては，OSはウィンドウズXP，アプリケーションはパワーポイント2003を搭載しています。これらの機材をご利用になる方は，データをUSBメモリでご持参ください。パワーポイント2003より新しいバージョンでファイルを作成される方は，あらかじめファイルの種類をパワーポイント2003以前のものに変更の上で，ご持参ください。時間を有効に活用できるよう，セッション前の休憩時間にデータをハードディスク上にコピーするようお願いします。データの消去はセッション終了後に各自で実施願います。なお，マッキントッシュ・パソコンは使用できません。

５．大会準備委員会の連絡先

〒890-0065　鹿児島市郡元1-20-6 鹿児島大学教育学部
日本社会心理学会第49回大会準備委員会
E-mail　jssp2008@edu.kagoshima-u.ac.jp
FAX　099-285-8976（日本社会心理学会準備委員会宛）

託児のご案内

大会期間中，下記の要領で託児をご利用できます。利用を希望される方は，2008 年 10 月 17 日（金）までに大会準備委員会までお申し込みください（期限厳守）。大会当日の利用申込はできません。できるだけ，早めに申し込みいただきますようご協力をお願い申し上げます。

１．申込方法

10 月 17 日（金）までに，以下の事項を E-mail もしくは FAX にて大会準備委員会までお知らせください（上記参照）。

・申込者（学会員）の氏名・所属・住所

・申込者の E-mail アドレス，電話番号（勤務先・自宅・携帯などすべて），FAX 番号

・お子様の氏名，性別，年齢（月齢）

・託児希望時間帯

お申し込みいただいた方には手続き書類を送付します。ただちに返送していただく必要がありますので，必ず大会準備委員会から連絡がとれるようにしてください。

２．場所と時間

かごしま県民交流センター１F 幼児室にて，11 月２日は 9:30～18:00，11 月３日は，8:30～17:30 でお預かりします。

３．受入年齢

小学校就学前のお子様を対象としますが，１歳未満のお子様の場合，お預かりできない場合もございます。事前にご相談ください。

４．費用

一日につき，1,000 円申し受けます。

５．その他

ご持参いただく持ち物等については，お申し込みのあった方に別途お知らせいたします。

大会日程

第１日目　11月２日（日）

受付:２階ロビー(9:30～)　　懇親会：鹿児島サンロイヤルホテル(19:00-21:00)

	10:00	12:00	14:00	16:00	18:00
県民ホール		11:45 13:15 総会	13:30 15:30 会員向け シンポジウム		
大ホール１	10:00 11:30 ポスター 発表１			16:00 17:30 ポスター 発表３	
大ホール２	ポスター 発表２			ポスター 発表４	
大研修室１	10:00 11:30 口頭発表１			16:00 17:30 口頭発表５	
大研修室２	口頭発表２			口頭発表６	
大研修室３	口頭発表３			口頭発表７	
大研修室４	口頭発表４			口頭発表８	
中研修室１				16:00 17:30 ワーク ショップ１	
中研修室２				ワーク ショップ２	

第２日目　11月３日（月）

受付：２階ロビー(8:30～)

	9:00	11:00	13:00	15:00	17:00
県民ホール			13:00 15:00 高校生向け講演会		
大ホール１	9:00 10:30 ポスター発表５	10:45 12:15 ポスター発表７		13:45 15:15 ポスター発表９	15:30 17:00 ポスター発表１１
大ホール２	ポスター発表６	ポスター発表８		ポスター発表１０	ポスター発表１２
大研修室１	9:00 10:30 口頭発表９	10:45 12:15 口頭発表１３		13:45 15:15 口頭発表１７	15:30 17:00 口頭発表１９
大研修室２	口頭発表１０	口頭発表１４		口頭発表１８	口頭発表２０
大研修室３	口頭発表１１	口頭発表１５			
大研修室４	口頭発表１２	口頭発表１６			
中研修室１	9:00 10:30 ワークショップ３	10:45 12:15 ワークショップ５		13:45 15:15 ワークショップ７	15:30 17:00 ワークショップ９
中研修室２	ワークショップ４	ワークショップ６		ワークショップ８	

特別企画シンポジウム　第 1 日目　11 月 2 日（日）

県民ホール

13 : 30〜15 : 30
特別企画シンポジウム
アジア社会心理学会・日本グループダイナミックス学会共催

Motivation 研究の最前線	企画者	遠藤　由美	関西大学
	司会者	遠藤　由美	関西大学
	話題提供者	Joe Cesario	Michigan State University
	話題提供者	See Ya Hui, Michelle	The National University of Singapore
	話題提供者	新谷　　優	法政大学
	指定討論者	池上　知子	大阪市立大学
	通訳	小林　知博	神戸女学院大学

高校生向け講演会　第 2 日目　11 月 3 日（月）

県民ホール

13 : 00〜15 : 00
高校生向け講演会
鹿児島県教育委員会後援

社会心理学って何だろう ― 社会の発展と社会心理学 ―	司会者	井上　佳朗	鹿児島大学（日本社会心理学会第 49 回大会準備委員会委員長）
	講演者	大坊　郁夫	大阪大学（日本社会心理学会会長）
	講演者	池田　謙一	東京大学（日本社会心理学会常任理事）
	講演者	川浦　康至	東京経済大学（日本社会心理学会常任理事）

ワークショップ　第1日目　11月2日（月）

中研修室1，中研修室2

16 : 00〜17 : 30

WS1	対人関係のダークサイド(2) ― だまし・暴力・抑うつ・浮気 ―	企画者	加藤　司	東洋大学
		企画者	谷口　弘一	同志社大学
		司会者	加藤　司	東洋大学
		話題提供者	村井　潤一郎	文教学院大学
		話題提供者	木野　和代	広島国際大学
		話題提供者	黒田　祐二	福井県立大学
		話題提供者	加藤　司	東洋大学
		指定討論者	谷口　弘一	同志社大学

16 : 00〜17 : 30

WS2	インターネット心理学のフロンティア ― デジタル化で変貌する個人・人間関係・社会 ―	企画者	三浦　麻子	神戸学院大学
		企画者	森尾　博昭	札幌大学
		企画者	川浦　康至	東京経済大学
		司会者	森尾　博昭	札幌大学
		司会者	三浦　麻子	神戸学院大学
		話題提供者	五十嵐　祐	日本学術振興会 SPD　大阪大学大学院人間科学研究科
		話題提供者	折田　明子	中央大学（非会員）
		話題提供者	小林　哲郎	国立情報学研究所
		話題提供者	高比良　美詠子	メディア教育開発センター
		指定討論者	川上　善郎	成城大学
		指定討論者	柴内　康文	同志社大学

ワークショップ　第2日目　11月3日（月）

中研修室1，中研修室2

9：00〜10：30

WS3	社会心理学方法論の再検討：パート2	企画者	唐沢　かおり	東京大学
		企画者	山口　裕幸	九州大学
		話題提供者	戸田山　和久	名古屋大学（非会員）
		話題提供者	山口　裕幸	九州大学
		話題提供者	唐沢　かおり	東京大学
		指定討論者	出口　康夫	京都大学（非会員）

9：00〜10：30

WS4	写真投影法（Photo Projective Method: PPM）による社会的認知・感情の測定	企画者	藤原　武弘	関西学院大学
		司会者	藤原　武弘	関西学院大学
		話題提供者	岡本　卓也	関西学院大学先端社会研究所
		話題提供者	前村　奈央佳	関西学院大学社会学研究科
		話題提供者	林　幸史	関西学院大学社会学研究科
		指定討論者	小杉　考司	山口大学教育学部
		指定討論者	松田　奈緒子	京都工芸繊維大学

10：45〜12：15

WS5	パーソナリティ心理学と社会心理学：協働から統合・融合へ	企画者	黒沢　香	東洋大学
		司会者	黒沢　香	東洋大学
		話題提供者	堀毛一也	岩手大学
		話題提供者	大久保　智生	香川大学
		話題提供者	黒沢　香	東洋大学
		指定討論者	杉山憲司	東洋大学

10：45〜12：15

WS6	社会心理学のパイオニアを温ねて	企画者	小杉　考司	山口大学教育学部
		司会者	小杉　考司	山口大学教育学部
		話題提供者	岡本　卓也	関西学院大学社会学研究科
		話題提供者	渡邊　太	大阪大学大学院人間科学研究科
		話題提供者	森尾　博昭	札幌大学経営学部
		話題提供者	藤原　武弘	関西学院大学社会学部

13：45〜15：15

WS7	マスコミによる非難対象の変遷過程の解明	企画者	釘原　直樹	大阪大学
		話題提供者	植村　善太郎	福岡教育大学
		話題提供者	村上　幸史	神戸山手大学
		話題提供者	釘原　直樹	大阪大学
		指定討論者	吉川　肇子	慶應義塾大学
		指定討論者	外山　みどり	学習院大学
		指定討論者	小城　英子	聖心女子大学

ワークショップ　第2日目　11月3日（月）

中研修室1，中研修室2

13：45〜15：15

WS8	社会心理学への行動遺伝学的アプローチ	企画者	安藤　寿康	慶應義塾大学文学部
		企画者	平石　界	京都大学こころの未来研究センター
		企画者	敷島　千鶴	慶應義塾大学先導研究センター
		司会者	平石　界	京都大学こころの未来研究センター
		話題提供者	安藤　寿康	慶應義塾大学文学部
		話題提供者	平石　界	京都大学こころの未来研究センター
		話題提供者	敷島　千鶴	慶應義塾大学先導研究センター
		指定討論者	結城　雅樹	北海道大学大学院文学研究科
		指定討論者	内田　由紀子	京都大学こころの未来研究センター

15：30〜17：00

WS9	文化と認知研究の現在と今後の展望	企画者	石井　敬子	北海道大学社会科学実験研究センター
		企画者	内田　由紀子	京都大学こころの未来研究センター
		司会者	内田　由紀子	京都大学こころの未来研究センター
		話題提供者	増田　貴彦	アルバータ大学心理学部
		話題提供者	上田　祥行	京都大学大学院人間・環境学研究科
		話題提供者	小宮　あすか	京都大学大学院教育学研究科
		話題提供者	石井　敬子	北海道大学社会科学実験研究センター
		指定討論者	唐沢　穣	名古屋大学大学院環境学研究科
		指定討論者	番　浩志	京都大学こころの未来研究センター

口頭発表　第１日　11 月 2 日（日）

口頭発表１　社会的認知　（大研修室 1）　10 : 00〜11 : 30

座長　外山みどり

01-1	ネガティブな出来事の経験と感情予測 ― 持続性バイアスの検討と他者の感情予測に対する経験の効果の検討 ―	○桑山　恵真 工藤　恵理子	一橋大学 東京女子大学
01-2	他者の推論過程について推論するときの自己中心的バイアス	工藤　恵理子	東京女子大学
01-3	顔写真の反復呈示が投票選択に及ぼす影響	○外山　みどり 山田　歩	学習院大学 東京女学館大学
01-4	懸念的被透視感に特徴的な反応に対する他者の印象	太幡　直也	日本学術振興会・筑波大学大学院
01-5	日常コミュニケーション経験と「メタ・ソーシャルスキル」得点との連関 ― 日誌法より ―	○石井　佑可子 遠藤　利彦	日本学術振興会（東京大学） 東京大学大学院

口頭発表　第 1 日　11 月 2 日（日）

口頭発表 2　集団①　（大研修室 2）　10 : 00〜11 : 30

座長　神　　信人

02-1	グループワークにおける集団内信頼の醸成プロセス：集団アイデンティティ，一般的信頼との関連から	五十嵐　祐	日本学術振興会・大阪大学大学院
02-2	リーダー－成員間相互依存構造フレームの変換による二次的ジレンマの回避	○松本　良恵 神　信人	淑徳大学大学院 淑徳大学
02-3	社会的ジレンマ状況における規範の過大視	○小野田　竜一 松本　良恵 神　信人	北海道大学大学院 淑徳大学大学院 淑徳大学
02-4	PD ゲーム行動に及ぼすいじめ経験の影響	安念　保昌	愛知みずほ大学

口頭発表　第 1 日　11 月 2 日（日）

口頭発表 3　文化①　（大研修室 3）　10 : 00〜11 : 30

座長　安藤　香織

03-1	社会的ネットワーク構造が“集団主義的”特性に及ぼす影響	針原　素子	東北大学大学院
03-2	在日留学生における日本的ソーシャルスキルの実施度と日本人との友人関係 — 留学生と日本人学生のペア調査から —	○奥西　有理 芦刈　直子 田中　共子	大阪大学 (株)キャリアプランニング 岡山大学
03-3	社会的スキル・トレーニングの長期的な維持効果に関する検討 — 中国人大学生を対象に —	○毛　新華 大坊　郁夫	大阪大学大学院 大阪大学大学院
03-4	親から子への環境配慮行動の伝達過程：日独比較	○安藤　香織 依藤　佳世 大沼　進 杉浦　淳吉 平井　純子 Ellen Matthies Sebastian Selge	奈良女子大学 (社)国際経済労働研究所 北海道大学 愛知教育大学 奈良女子大学 Ruhr University Bochum Macaulay Land Use Research Institute

口頭発表　第 1 日　11 月 2 日（日）

口頭発表 4　マスコミュニケーション （大研修室 4） 10 : 00〜11 : 30

座長　釘原　直樹

04-1	中国の日本報道の特性：中国の韓国・米国報道との比較を通じて	○王　戈 坂元　章	お茶の水女子大学 お茶の水女子大学
04-2	メディアとの接触が地震の対処行動に及ぼす影響	○大友　章司 岩崎　祥一	甲南女子大学 東北大学
04-3	女子大学生のファッションの傾向と希望するライフコースとの関係について	杉本　奈穂	東京大学大学院
04-4	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷 (11) — テキストマイニングソフトを用いた簡易分析の試み —	○植村　善太郎 村上　幸史 阿形　亜子 釘原　直樹	福岡教育大学 神戸山手大学 大阪大学大学院 大阪大学大学院
04-5	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷 (12) 記憶バイアスと変遷印象との関連	○釘原　直樹 植村　善太郎 村上　幸史 阿形　亜子	大阪大学 福岡教育大学 神戸山手大学 大阪大学

口頭発表　第 1 日　11 月 2 日（日）

口頭発表 5　感情　（大研修室 1）　16 : 00〜17 : 30

座長　松井　豊

05-1	他者の感情状態の理解が表情模倣に与える影響 — 表情模倣現象の頑健性と適応的意義の検討 —	○齋藤　寿倫 村田　藍子 亀田　達也	北海道大学大学院 北海道大学 北海道大学大学院
05-2	表情変化の知覚に関する日米比較実験	○間山　ことみ 石井　敬子 宮本　百合 Paula Niedenthal	北海道大学 北海道大学 University of Wisconsin University of Clermond-Ferrand
05-3	感情の諸相と社会生態学的環境：一日再現法による検討	○犬飼　佳吾 小室　匠 河口　朋広 亀田　達也	北海道大学大学院・日本学術振興会 北海道大学大学院 北海道大学大学院 北海道大学大学院
05-4	後悔の内容，きっかけ，および頻度に関する研究	○津曲　陽子 古川　久敬	九州大学大学院 九州大学大学院

口頭発表　第 1 日　11 月 2 日（日）

口頭発表 6　自己・パーソナリティ①　（大研修室 2）　16 : 00〜17 : 30

座長　尾崎　由佳

06-1	自尊心変動性と達成動機および自己向上感との関係	○福沢　愛 山口　勧	東京大学 東京大学
06-2	制御焦点と過去・現在・未来の自己評価 促進焦点/予防焦点の強さは成功期待に影響するか？	尾崎　由佳	東海大学
06-3	社会生態学的アプローチによる自尊心の関係拡張機能の検証	○佐藤　剛介 結城　雅樹	北海道大学大学院 北海道大学大学院
06-4	自尊心，恥の関係を説明する状態的な虚無感の検討	岡元　陽一	国際基督教大学大学院
06-5	年長者の自伝的物語と well-being の関連	○上出　寛子 大坊　郁夫	日本学術振興会 大阪大学大学院

口頭発表　第 1 日　11 月 2 日（日）

口頭発表 7　対人的相互作用　（大研修室 3）　16 : 00〜17 : 30

座長　大坪　庸介

07-1	正直なシグナルとしての微笑み ― 身体的能力に注目した検討 ―	田村　亮	埼玉学園大学
07-2	コストリー・シグナルとしての謝罪	○大坪　庸介 渡邊　えすか	神戸大学大学院 神戸大学
07-3	他者の利他性判断の正確さを規定する要因	○品田　瑞穂 山岸　俊男 谷田　林士 橋本　博文 高橋　知里	北海道大学・日本学術振興会 北海道大学 北海道大学 北海道大学 北海道大学
07-4	不公正他者への罰を生み出す心理メカニズム：最後通告ゲームを用いた検討	○堀田　結孝 高岸　治人 山岸　俊男	北海道大学大学院・日本学術振興会 北海道大学大学院・日本学術振興会 北海道大学大学院
07-5	情報格差状況での情報提供方法と受け手への信頼との関係の検討	小杉　素子	(財)電力中央研究所

口頭発表　第１日　11 月２日（日）

口頭発表８　偏見・ステレオタイプ　（大研修室４）　16：00〜17：30

座長　竹村　和久

08-1	描画の画像解析による偏見研究法	○竹村　和久 Yuri Gatanov 高橋　英彦	早稲田大学 ロシア国立サンクトペテルブルグ大学 (独)放射線医学研究所
08-2	距離のとり方によって集団への態度は変化するか？ ― 接近・回避行動が潜在的・顕在的人種態度に与える影響 ―	○埴田　健司 村田　光二	一橋大学大学院 一橋大学大学院
08-3	自己表象の顕現化が女性に対する偏見とステレオタイプ化に及ぼす効果 ― Implicit Association Test を用いた検討 ―	○高林　久美子 沼崎　誠	一橋大学大学院 首都大学東京
08-4	ステレオタイプ喚起情報が対人魅力に及ぼす効果 ― IAT を用いた検討 ―	○松尾　藍 吉田　富二雄	筑波大学大学院 筑波大学大学院
08-5	エイジズム・セクシズムが就労格差の帰属および是正策への態度に与える効果	○竹内　真純 唐沢　かおり	東京大学大学院 東京大学大学院

口頭発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

口頭発表 9　意志決定　（大研修室 1）　9 : 00〜10 : 30

座長　元吉　忠寛

09-1	遅延リスクに対する人々の選好 — 時間割引との関連性の実験的検証 —	○小室　匠 河口　朋広 亀田　達也	北海道大学大学院 北海道大学大学院 北海道大学大学院
09-2	道徳的ジレンマに対する勢力プライミングの効果 — 間接プライミングによる「マキャベリ効果」の検討 —	○熊谷　智博 Kees van den Bos	東北大学 Utrecht 大学
09-3	未経験者は経験者の意見に同調するか？ — 経験に基づく評価と意思決定 —	○土屋　耕治 元吉　忠寛 吉田　俊和	名古屋大学大学院 名古屋大学大学院 名古屋大学大学院
09-4	時間制限が多属性意思決定における文脈効果に及ぼす影響 — 妥協効果，魅力効果に関する検討 —	○菊地　学 春日　喬 都築　誉史	立教大学大学院 帝京大学 立教大学

口頭発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

口頭発表 10　社会的交換　（大研修室 2）　9 : 00〜10 : 30

座長　辻　　竜平

10-1	地域比較による信頼生成過程の変化についての検討	稲垣　佑典	東北大学大学院
10-2	信頼は文化を超えるか？　信頼ゲームを用いた日本・中国・台湾“接合文化”実験	○Joanna Schug	北海道大学
		山岸　俊男	北海道大学
		高橋　知里	北海道大学
		三船　恒裕	北海道大学・日本学術振興会
		橋本　博文	北海道大学
		James Liu	Victoria University of Wellington
		Yicheng Lin	National Taiwan University
		Feixue Wang	Sun Yat-Sen University
		Szhisien Yu	National Taiwan University
		Guimei Hu	Sun Yat-Sen University
		You-tz Liou	Sun Yat-Sen University
10-3	内集団への利他行動に対する「目」の効果	○三船　恒裕	北海道大学・日本学術振興会
		橋本　博文	北海道大学
		山岸　俊男	北海道大学
10-4	規範遵守行動における心の理論の役割 〜未就学児を対象とした最後通告ゲーム実験〜	○高岸　治人	北海道大学・日本学術振興会
		亀島　信也	関西福祉科学大学
		川人　公一	関西女子短期大学付属幼稚園
		小泉　径子	北海道大学
		山岸　俊男	北海道大学
10-5	直接的・間接的にアクセス可能なネットワークが一般的信頼と寛容性に及ぼす効果 — ポジション・ジェネレータを用いて —	○辻　竜平	信州大学
		小舩　達己	(株)レヴェル

口頭発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

口頭発表 11　政治参加　（大研修室 3）　9 : 00〜10 : 30

座長　野波　　寛

11-1	意図への信頼に手続き的公正さが及ぼす影響と自由裁量の調整効果	○尾花　恭介 広瀬　幸雄	名古屋大学 名古屋大学
11-2	市民参加による熟慮型討議への参加意図の規定因 — 参加経験者と未経験者の比較 —	○前田　洋枝 広瀬　幸雄 杉浦　淳吉 大沼　進	東海学園大学 名古屋大学大学院 愛知教育大学 北海道大学大学院
11-3	コモンズをめぐる所有者・利用者・管理者の正当性 —‘共有財管理ゲーム’による実験的検討 —	野波　寛	関西学院大学
11-4	コミュニティ運営に対する市民の参加を規定する要因の検討 — 東京都武蔵野市における検討 —	髙橋　尚也	筑波大学大学院
11-5	水平的ネットワーク多様性が若年層の社会参加にもたらす効果の検討	○稲増　一憲 志村　誠 大髙　瑞郁 池田　謙一	東京大学大学院・日本学術振興会 東京大学大学院 東京大学大学院 東京大学大学院

口頭発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

口頭発表 12　身近な人間関係①　（大研修室 4）　9 : 00〜10 : 30

座長　金政　祐司

12-1	愛着スタイルが他者の選択に及ぼす影響 ― 説得納得ゲームにおける参加者の愛着スタイルに着目して ―	○柳澤　邦昭 西村　太志 浦　光博	広島大学大学院 広島国際大学 広島大学大学院
12-2	異性交際中の感情に基づく関係の変化過程	立脇　洋介	東京学芸大学
12-3	男性の魅力	○川名　好裕 齊藤　勇	川村学園女子大学 立正大学
12-4	関係相手からの受容予期と曖昧な拒絶の手がかりへの反応性 ― 愛着不安がもたらす皮肉な帰結 ―	○宮崎　弦太 池上　知子	大阪市立大学大学院・日本学術振興会 大阪市立大学大学院
12-5	期待はずれがうみ落とせしもの ― 青年期の恋愛関係における期待はずれが関係内の感情経験と適応性に及ぼす影響 ―	金政　祐司	大阪人間科学大学

口頭発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

口頭発表 13　集団②　（大研修室 1）　10 : 45〜12 : 15

座長　弓削　洋子

13-1	教師に期待される矛盾した指導性の統合化: 指導行動が学級の児童に及ぼす効果	弓削　洋子	愛知教育大学
13-2	内集団アイデンティティに対する集団内相互作用と内集団の社会的価値の相乗効果 — 社会的カテゴリーの相対的有意味性モデルの構築の試み (3) —	○中島　健一郎 礒部　智加衣 浦　光博	広島大学大学院・日本学術振興会 広島大学大学院 広島大学大学院
13-3	厳しさは実を結ぶ？ — リーダーによる罰行動の個人・集団レベルそれぞれでの効果性の検討 —	相馬　敏彦	川口短期大学
13-4	大学生サークル集団における組織コミットメント・モデルの検討	○橋本　剛明 磯崎　三喜年	東京大学大学院 国際基督教大学
13-5	個人のチームワークスキル形成に関する研究	○野上　真 古川　久敬	九州大学大学院 九州大学大学院

口頭発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

口頭発表 14　態度・信念　（大研修室 2）　10 : 45〜12 : 15

座長　藤井　　聡

14-1	企業城下町における企業の評価について ― インタビュー調査による検討 ―	○伊藤　晃輔 後藤　学	原子力安全システム研究所 原子力安全システム研究所
14-2	反復接触がカテゴリ評価に与える効果 ― Go/No-go Association Task (GNAT) を用いた検討 ―	○川上　直秋 吉田　富二雄	筑波大学大学院 筑波大学大学院
14-3	法律の解釈可能性とその制定に伴う規範活性化効果	○藤井　聡 羽鳥　剛史 黒岩　武志 竹村　和久	東京工業大学大学院 東京工業大学大学院 (株)伊藤忠都市開発 早稲田大学
14-4	内村鑑三「代表的日本人」通読が大衆性抑制に及ぼす影響に関する実証的検討	○羽鳥　剛史 伊地知　恭右 藤井　聡	東京工業大学大学院 (社)北海道開発技術センター 東京工業大学大学院
14-5	殺意の有無について判断過程 ― 裁判員裁判ゲームを用いて	荒川　歩	名古屋大学大学院

口頭発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

口頭発表 15　犯罪・非行　（大研修室 3）　10 : 45〜12 : 15

座長　中谷内一也

15-1	日本人は何に不安を感じているのか (2)	中谷内　一也	帝塚山大学
15-2	専門家の犯罪リスク認知と頻度推定 — 犯罪リスク認知の研究 (4) —	○島田　貴仁 中谷内　一也	科学警察研究所 帝塚山大学
15-3	ソーシャル・キャピタルと犯罪抑制 — 割れ窓理論の観点から —	○高木　大資 辻　竜平	東京大学 信州大学
15-4	社会環境が社会的行動に及ぼす影響 (11) — 社会環境と逸脱行動に関する国際比較の基礎的データ —	○中島　誠 吉澤　寛之 海上　智昭 原田　知佳 朴　賢晶 尾関　美喜 吉田　俊和	名古屋大学大学院 岐阜聖徳学園大学 名古屋大学大学院 名古屋大学大学院 愛知文教女子短期大学 名古屋大学大学院・日本学術振興会 名古屋大学大学院
15-5	社会環境が社会的行動に及ぼす影響 (12) — 社会環境が社会的情報処理に及ぼす影響力の国際比較 —	○吉澤　寛之 海上　智昭 原田　知佳 朴　賢晶 中島　誠 尾関　美喜 吉田　俊和	岐阜聖徳学園大学 名古屋大学大学院 名古屋大学大学院 愛知文教女子短期大学 名古屋大学大学院 名古屋大学大学院・日本学術振興会 名古屋大学大学院

口頭発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

口頭発表 16　文化②　（大研修室 4）　10 : 45〜12 : 15

座長　杉森　伸吉

16-1	集団サイズと成員誘意性分布との共変認知における文化差	杉森　伸吉	東京学芸大学
16-2	関係流動性が原因帰属に与える影響：比較社会分析	○釜屋　健吾	北海道大学大学院
		結城　雅樹	北海道大学大学院
16-3	東西文化差がコミュニケーションに与える影響について	○池田　真季	東京大学大学院
		嘉志摩　佳久	メルボルン大学
		唐沢　かおり	東京大学大学院
16-4	文化特有の思考様式を示す課題間の相関分析	○橋本　博文	北海道大学大学院
		山岸　俊男	北海道大学大学院

口頭発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

口頭発表 17　自己・パーソナリティ②　（大研修室 1）　13 : 45〜15 : 15

座長　山岡　重行

17-1	自己概念の明確性 (SCC) の関連要因の検討 ― 対人行動への反応の調整効果を中心に ―	源氏田　憲一	（所属なし）
17-2	集団主義・個人主義関連尺度の 3 次元自己制御の観点からの検討	山岡　重行	聖徳大学
17-3	否定的意識を伴う自己呈示の探索的検討	成田　恭代	筑波大学大学院
17-4	複数観衆問題が異性への自己呈示に及ぼす影響	○笠置　遊 大坊　郁夫	大阪大学大学院 大阪大学大学院

口頭発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

口頭発表 18　身近な人間関係②　（大研修室 2）　13 : 45〜15 : 15

座長　谷口　淳一

18-1	視点取得と出来事の帰属の関連 ― 父子関係における検討 ―	○大髙　瑞郁 唐沢　かおり	東京大学大学院 東京大学大学院
18-2	ペア・縦断データを用いた友人関係の形成に関する研究 (1) 〜自己呈示が友人からの評価及び関係満足感に及ぼす影響〜	○谷口　淳一 清水　裕士	大阪国際大学 大阪大学大学院・日本学術振興会
18-3	ペア・縦断データを用いた友人関係の形成に関する研究 (2) 〜マルチレベル・時系列分析による，ペアレベルの葛藤解決方略の検討〜	○清水　裕士 谷口　淳一	大阪大学大学院・日本学術振興会 大阪国際大学
18-4	日仏比較に見る小学生と高齢者との異世代関係	村山　陽	慶應義塾大学大学院
18-5	子どもとの「絆」が関係満足度と精神的健康に与える影響	○戸口　愛泰 高木　修	相愛大学 関西大学

口頭発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

口頭発表 19　自己・パーソナリティ③　（大研修室 1）　15 : 30〜17 : 00

座長　渡部　麻美

19-1	自尊感情の高さ・変動性と抑うつ・ネガティブな反すうとの関連	阿部　美帆	筑波大学大学院
19-2	対人不安特性と過敏型自己愛傾向とが他者評価好転場面における認知と感情に与える影響	落合　萌子	筑波大学大学院
19-3	先延ばし意識特性尺度の作成	小浜　駿	筑波大学大学院
19-4	抑うつ者にみられる思考抑制の失敗	○服部　陽介 川口　潤	名古屋大学大学院 名古屋大学大学院
19-5	ひきこもり親和性の規定因の検討	○渡部　麻美 松井　豊 高塚　雄介	筑波大学大学院 筑波大学大学院 明星大学

口頭発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

口頭発表 20　電子ネットワーキング　（大研修室 2）　15 : 30〜17 : 00

座長　杉谷　陽子

20-1	地域オンラインコミュニティの閲覧・投稿は地域社会への参加を促進するか パネルデータによる因果関係の検討	○志村　誠 池田　謙一	東京大学大学院 東京大学大学院
20-2	オンライン仮想空間を利用したがん患者のコミュニティ形成 チャットに基づく発話と感情の変化の分析	○楠見　孝 小倉　加奈代	京都大学 北陸先端科学技術大学院大学
20-3	インターネット上の口コミの有効性: 製品の評価と記憶における非言語的手がかりの効果	杉谷　陽子	上智大学
20-4	電子いじめに関する研究	黒川　雅幸	福岡教育大学

ポスター発表　第１日　11月２日（日）

ポスター発表１（大ホール１）　10：00〜11：30

在席責任時間　奇数番号　10：00〜10：45　偶数番号　10：45〜11：30

P01-1	顕在的自尊心および潜在的自尊心と他の個人特性との関係 (1) — ナルシシズム傾向との関連 —	○杉山　祐一郎 澤海　崇文 山口　勧 Yiyuan Xu Huajian Cai	東京大学大学院 東京大学大学院 東京大学大学院 University of Hawaii Sun Yat-Sen University
P01-2	顕在的自尊心および潜在的自尊心と他の個人特性との関係 (2) — シャイネスとの関連についての比較文化的研究 —	○澤海　崇文 杉山　祐一郎 山口　勧 Yiyuan Xu Huajian Cai	東京大学大学院 東京大学大学院 東京大学大学院 University of Hawaii Sun Yat-Sen University
P01-3	肯定的自動思考と自己価値/自己能力のプライミングが Self-Liking と Self-Competence の変動に及ぼす影響	吉田　綾乃	東北福祉大学
P01-4	他者の特性判断課題における自己知識の潜在効果 — 重要他者と非重要他者の比較による検討 —	石井　辰典	上智大学大学院
P01-5	対人場面におけるあいまいさへの非寛容と自己開示	友野　隆成	同志社大学
P01-6	制御モード尺度作成の試み	山上　真貴子	お茶の水女子大学

ポスター発表　第１日　11月２日（日）

ポスター発表１（大ホール１）　10：00〜11：30

在席責任時間　奇数番号　10：00〜10：45　偶数番号　10：45〜11：30

P01-7	成人期のサスティナブルな信念の個人差に関する研究 (1)	堀毛　一也	岩手大学
P01-8	想起意図の有無が自伝的記憶の検索過程の違いに与える影響	○雨宮　有里 高　史明	日本学術振興会 東京大学大学院
P01-9	自己愛傾向の下位側面と過去の経験に対する評価の関連性	○三浦　絵美 吉田　富二雄	筑波大学大学院 筑波大学大学院
P01-10	ユーモアスタイルとコーピングの関連	小野　茜	聖心女子大学大学院
P01-11	主観的幸福感の認知的複雑性に関する検討	○清水　美帆 邵　木子 堀内　孝	鳥取家庭裁判所 大阪大学大学院 岡山大学大学院
P01-12	パーソナリティの認知過程 (5) ― パーソナリティ認知の決定要因としての情報選択 ―	岩熊　史朗	駿河台大学

ポスター発表　第１日　11月２日（日）

ポスター発表１（大ホール１）　10：00〜11：30

在席責任時間　奇数番号　10：00〜10：45　偶数番号　10：45〜11：30

P01-13	選択肢数が決定方略と心理的負担に及ぼす影響	佐藤　史緒	東洋大学大学院
P01-14	パースペクティブ・テイキングにおける自他の融合性について	平田　万理子	昭和女子大学
P01-15	自己と他者の自尊心レベルが適応に及ぼす影響 ― 恋愛関係における検討 ―	長谷川　孝治	信州大学
P01-16	感情知性としての共感力が職場ストレスへの対処行動に及ぼす影響	○前村　奈央佳 藤原　武弘	関西学院大学大学院 関西学院大学
P01-17	文化的自己観の再検討 (2) ― 面子概念という視点から ―	○王　怡 今川　民雄	北星学園大学大学院 北星学園大学
P01-18	幸福感の文化的要因 ― 中高年のコントロール感と関係性の役割 ―	○菅　知絵美 唐澤　真弓	東京女子大学大学院 東京女子大学
P01-19	社会的自己制御と BIS/BAS・Effortful Control が予測する問題行動の差異	○原田　知佳 吉澤　寛之 吉田　俊和	名古屋大学大学院 岐阜聖徳学園大学 名古屋大学大学院

ポスター発表　第１日　11月２日（日）

ポスター発表２（大ホール２）10：00〜11：30

在席責任時間　奇数番号　10：00〜10：45　偶数番号　10：45〜11：30

P02-1	男女間に見られるであろう行動の収集の試み ― 現実的な男女間の行動の抽出に向けて ―	青柳　壮助	上智大学大学院
P02-2	ストレス体験に伴う相互作用と自己概念の肯定的/否定的変化 ― 実行されたサポートの役割に注目した探索的検討 ―	福岡　欣治	静岡文化芸術大学
P02-3	上司－部下二者間の相互信頼関係の形成と信頼欲求の効用 ― 職場の課題遂行場面を想定した実験による検討 ―	○藤原　勇 髙木　修	関西大学大学院 関西大学
P02-4	自己の精神的健康と友人のユーモアの有無が関係満足度に及ぼす影響	○谷　忠邦 大坊　郁夫	大阪大学大学院 大阪大学大学院
P02-5	社会的ジレンマと一般交換の連結	○真島　理恵 高橋　伸幸	熊本学園大学 北海道大学大学院
P02-6	信頼できる人とはどのような人か：信頼と協力の差異	○森本　裕子 中嶋　智史	京都大学大学院 京都大学大学院
P02-7	心の理論と平等分配規範：自閉症スペクトラム児における検討	○森　久美子 行廣　隆次	関西学院大学 京都学園大学
P02-8	写真投影法による危険認知の把握 (3) 〜大人の危険認知の構造〜	○林　幸史 岡本　卓也 藤原　武弘	関西学院大学大学院 関西学院大学大学院 関西学院大学大学院
P02-9	写真投影法による危険認知の把握 (4) 〜子どもの危険・不安認知の構造〜	○岡本　卓也 林　幸史 藤原　武弘	関西学院大学大学院 関西学院大学大学院 関西学院大学大学院

ポスター発表　第 1 日　11 月 2 日（日）

ポスター発表 2 （大ホール 2） 10 : 00〜11 : 30

在席責任時間　奇数番号　10 : 00〜10 : 45　偶数番号　10 : 45〜11 : 30

P02-10	不思議現象とテレビに対する態度 不思議現象に対する態度 (13)	○小城　英子 坂田　浩之 川上　正浩	聖心女子大学 大阪樟蔭女子大学 大阪樟蔭女子大学
P02-11	不思議現象に対する態度と制御欲求との関連 不思議現象に対する態度 (14)	○坂田　浩之 川上　正浩 小城　英子	大阪樟蔭女子大学 大阪樟蔭女子大学 聖心女子大学
P02-12	不思議現象に対する態度と虚記憶生起との関連 不思議現象に対する態度 (15)	○川上　正浩 小城　英子 坂田　浩之	大阪樟蔭女子大学 聖心女子大学 大阪樟蔭女子大学
P02-13	回答形式の違いがリスクの評価に与える影響	○増田　真也 坂上　貴之 広田　すみれ	慶應義塾大学 慶應義塾大学 武蔵工業大学
P02-14	社会化研究の源流と展開：3 ― 学史の方法論 (2)：課題の設定に向けて ―	大江　篤志	東北学院大学
P02-15	交通行動・消費行動が地域愛着の醸成に与える影響	○鈴木　春菜 藤井　聡	東京工業大学大学院 東京工業大学大学院

ポスター発表　第１日　11月２日（日）

ポスター発表２（大ホール２）10：00〜11：30

在席責任時間　奇数番号　10：00〜10：45　偶数番号　10：45〜11：30

P02-16	エルスバーグの２色問題における比較無知効果の検討	○足立　邦子 山　祐嗣 関山　敦生	国立長寿医療センター研究所 神戸女学院大学 国立長寿医療センター研究所
P02-17	不確実性情報がリスク認知に及ぼす効果	○山﨑　瑞紀 吉川　肇子	武蔵工業大学 慶應義塾大学
P02-18	失敗に関する価値観と失敗への対処行動との関係	○池田　浩 三沢　良	聖トマス大学 九州大学大学院
P02-19	モノを人格化する心理 II ― 成人用アニミズム尺度の作成と人形供養の心理的要因 ―	池内　裕美	関西大学
P02-20	分析的－包括的思考尺度日本語版作成の試み	橋本　剛	静岡大学
P02-21	性格特性語に対する連想反応の経年変化 ― テキストマイニングによる分析 ―	○湯川　隆子 清水　裕士	奈良大学 大阪大学大学院
P02-22	青年期におけるナショナリズムとジェンダー意識に関する日中韓比較	○赤澤　淳子 山中　千恵 伊月　知子	仁愛大学 仁愛大学 今治明徳短期大学

ポスター発表　第１日　11 月 2 日（日）

ポスター発表３（大ホール１）16 : 00〜17 : 30

在席責任時間　奇数番号　16 : 00〜16 : 45　偶数番号　16 : 45〜17 : 30

P03-1	仕事に対するコントロール感および仕事強度を規定する要因 (1) ― 時間外労働，職種，転勤経験の影響 ―	○阿部　晋吾 丹波　秀夫 八木　隆一郎	梅花女子大学 (社)国際経済労働研究所 (社)国際経済労働研究所
P03-2	仕事に対するコントロール感および仕事強度を規定する要因 (2) ― 職場の人間関係，職場外の要因の影響 ―	○丹波　秀夫 阿部　晋吾 八木　隆一郎	(社)国際経済労働研究所 梅花女子大学 (社)国際経済労働研究所
P03-3	看護職の職務動機づけに影響を及ぼす要因 (2) ― 職務動機づけの促進要因について ―	戸梶　亜紀彦	広島大学
P03-4	職場の上司－部下の対人葛藤場面における部下の解決方略に関する研究	○多留　里香 大坊　郁夫	大阪大学大学院 大阪大学大学院
P03-5	NPO 団体におけるスキル継承過程の検討 (2) ― 社会人 NPO 団体と学生団体との比較から ―	新井　洋輔	東京福祉大学
P03-6	集団社会化における仕事役割の効果：実験 2	本多–ハワード素子	江戸川大学
P03-7	尊重と病院アイデンティティおよび協力行動の関連 ― 看護師の協力行動を促進するには誰からの尊重が効果的？ ―	○早瀬　良 坂田　桐子 高口　央	広島大学大学院 広島大学大学院 流通経済大学
P03-8	若者の早期転職についての一考察 ― 早期転職における内的要因の抽出 ―	○佐藤　綾子 角山　剛	東京国際大学大学院 東京国際大学

ポスター発表　第１日　11月２日（日）

ポスター発表３（大ホール１）16：00〜17：30

在席責任時間　奇数番号　16：00〜16：45　偶数番号　16：45〜17：30

P03-9	企業のリスク管理教育に関する実態調査	○松村　憲一	大阪大学大学院
		織田　朝美	大阪大学大学院
		加藤　悟	大阪大学大学院
		松井　孝典	大阪大学大学院
		盛岡　通	大阪大学大学院
P03-10	慢性疾患患者が外来受診に期待するもの ― コンジョイント分析による検討	○吉田　寿子	九州大学大学院
		鶴屋　和彦	九州大学大学院
P03-11	飲食店従業員の感情労働の変動とパーソナリティ・態度との関連	須賀　知美	目白大学大学院
P03-12	企業への信頼に関連する要因	片桐　恵子	日本興亜福祉財団
P03-13	看護職員の仕事での志向性がストレス反応に及ぼす影響 ― 職務ストレッサーとコーピング行動を媒介して ―	○松本　みゆき	名古屋大学大学院
		金井　篤子	名古屋大学大学院
P03-14	労働組合員の投票参加傾向を規定する要因分析 II	東　正訓	追手門学院大学
P03-15	男女共同参画条例をめぐる合意形成の促進要因の探索的検討 ― 地方公共団体行政職員を対象として ―	○宇井　美代子	東京福祉大学
		松井　豊	筑波大学大学院

ポスター発表　第 1 日　11 月 2 日（日）

ポスター発表 4 （大ホール 2） 16 : 00〜17 : 30

在席責任時間　奇数番号　16 : 00〜16 : 45　偶数番号　16 : 45〜17 : 30

P04-1	被差別集団の成員にみられる原因帰属方略 ― 差別の対象となる見込みと所属集団カテゴリーの顕現性の影響 ―	浅井　暢子	名古屋大学大学院
P04-2	ステレオタイプ脅威が数学成績に及ぼす影響	○井邑　智哉 樋口　匡貴 深田　博己	広島大学大学院 広島大学大学院 広島大学大学院
P04-3	血液型性格判断に対する肯定的態度と偏見	○川嶋　伸佳 佐藤　若菜	東北大学大学院 (株)薬王堂
P04-4	受け手とのステレオタイプ共有度が言語期待バイアスに及ぼす影響	高田　雅美	一橋大学大学院
P04-5	ステレオタイプ脅威の緩和に関する研究 ― 集団同一視の観点から ―	坂田　桐子	広島大学大学院
P04-6	マスメディア接触によるステレオタイプ活性化の影響	○金田　宗久 岡本　真一郎	名古屋大学大学院 愛知学院大学
P04-7	反ステレオタイプ的情報のステレオタイプ的連合低減効果に競争マインドセットが及ぼす影響	○長田　眞由子 沼崎　誠	一橋大学大学院 首都大学東京大学院

ポスター発表　第 1 日　11 月 2 日（日）

ポスター発表 4 （大ホール 2） 16 : 00〜17 : 30

在席責任時間　奇数番号　16 : 00〜16 : 45　偶数番号　16 : 45〜17 : 30

P04-8	規範逸脱行為の拡散: 記述的規範と類似の規範への信念の効果	村上　史朗	横浜国立大学
P04-9	部活集団への満足と活動の特性との関係	吉村　斉	高知学園短期大学
P04-10	所属期間の長さと所属集団の性質から見た集団同一視と集団凝集性	赤須　大典	久留米大学大学院
P04-11	多数派－少数派の立場変化が集団に対する捉え方および感情状態に及ぼす影響 (2)	佐野　予理子	国際基督教大学大学院
P04-12	集団状況，メンバーのアイデンティティ及びリーダー出現の関連	○川口　司寛 坂田　桐子	広島大学大学院 広島大学大学院
P04-13	集団の遂行水準が社会的手抜きに及ぼす影響	○阿形　亜子 釘原　直樹	大阪大学大学院 大阪大学大学院
P04-14	コミュニケーション文脈が内集団バイアスに及ぼす影響	○杉浦　仁美 坂田　桐子	広島大学大学院 広島大学大学院

ポスター発表　第 1 日　11 月 2 日（日）

ポスター発表 4 （大ホール 2） 16 : 00〜17 : 30

在席責任時間　奇数番号　16 : 00〜16 : 45　偶数番号　16 : 45〜17 : 30

P04-15	時系列で見る学級集団の凝集性に関する研究 ― CLASS による学級集団構造分析 ―	○酒井　直美 藤本　学 杉森　伸吉	東京学芸大学 久留米大学 東京学芸大学
P04-16	CLASS で用いる関係性の親密さの評定基準に関する検討	○藤本　学 酒井　直美	久留米大学 東京学芸大学
P04-17	集団内における迷惑行為の影響過程 (1) ― 情緒的コミットメントに及ぼす影響の検討 ―	○尾関　美喜 吉田　俊和	名古屋大学大学院・日本学術振興会 名古屋大学大学院
P04-18	リーダーシップの共有的発揮形態が協力行動に及ぼす効果	○高口　央 早瀬　良 坂田　桐子	流通経済大学 広島大学大学院 広島大学大学院
P04-19	集団意志決定における係留ヒューリスティックと専門性の影響 ― 裁判員制度に関して	本間　道子 斉藤　真美 舘　瑞恵	日本女子大学 三井住友銀行 日本女子大学
P04-20	教師の指導態度が生徒のいじめ加害傾向に及ぼす影響 ― いじめへの罪悪感を媒介要因として ―	○大西　彩子 黒川　雅幸 吉田　俊和	名古屋大学大学院 福岡教育大学 名古屋大学大学院

ポスター発表　第２日　11月３日（月）

ポスター発表５（大ホール１）　9：00〜10：30

在席責任時間　奇数番号　9：00〜9：45　偶数番号　9：45〜10：30

P05-1	ルール形成プロセスに関する縦断的検討 (1) — 後部座席シートベルト着用義務化について —	○北折　充隆 小池　はるか	金城学院大学 (独)科学技術振興機構
P05-2	ルール形成プロセスに関する縦断的検討 (2) — 社会考慮との関連について —	○小池　はるか 北折　充隆	(独)科学技術振興機構 金城学院大学
P05-3	大学生を対象とした沖縄の社会状況の認知に関する研究 (1) — 自治不安 —	○中村　完 大城　亘武 與久田　巌	琉球大学 沖縄キリスト教学院大学 立命館大学
P05-4	大学生を対象とした沖縄の社会状況の認知に関する研究 (2) — 戦争不安 —	○與久田　巌 大城　亘武 中村　完	立命館大学 沖縄キリスト教学院大学 琉球大学
P05-5	地域における子育て支援に関する社会心理学的検討 (1) — 地域差異とサポートネットワークが遊び場の利用に及ぼす影響 —	○西村　太志 古谷　嘉一郎 相馬　敏彦 長沼　貴美	広島国際大学 比治山大学 川口短期大学 呉大学
P05-6	地域における子育て支援に関する社会心理学的検討 (2) — 種々の情報源からの情報の受領が育児に関する認知に与える影響 —	○古谷　嘉一郎 西村　太志 相馬　敏彦 長沼　貴美	比治山大学 広島国際大学 川口短期大学 呉大学
P05-7	恥意識と非行的態度に関する研究 (1) 恥意識の構造	○堀内　勝夫 松井　洋 中村　真 中里　至正	産業能率大学 川村学園女子大学 川村学園女子大学 東洋大学
P05-8	恥意識と非行的態度に関する研究 (2) — 親子関係と恥意識の形成 —	○中村　真 松井　洋 堀内　勝夫 中里　至正	川村学園女子大学 川村学園女子大学 産業能率大学 東洋大学
P05-9	恥意識と非行的態度に関する研究 (3) 非行的態度及び社会的迷惑行為と恥意識との関係	○松井　洋 六角　絵里子 中村　真 堀内　勝夫 中里　至正	川村学園女子大学 川村学園女子大学 川村学園女子大学 産業能率大学 東洋大学

ポスター発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

ポスター発表 5 （大ホール 1） 9 : 00〜10 : 30

在席責任時間　奇数番号　9 : 00〜9 : 45　偶数番号　9 : 45〜10 : 30

P05-10	携帯電話の「欲しい色」と「購入色」について ― 公的自己意識，性別，仕事の有無に注目して ―	東海　春加	上智大学大学院
P05-11	コンドーム使用促進に関する心理学的研究 (7) 〜友人集団が及ぼすコンドーム購入への影響〜	○樋口　匡貴 中村　菜々子	広島大学大学院 兵庫教育大学
P05-12	摂食行動に対するリアルモデルの効果 ― 社会的規範の適切性の観点から ―	○山﨑　真理子 水野　邦夫 青山　謙二郎	同志社大学 帝塚山大学 同志社大学
P05-13	犯罪関連情報と犯罪被害に対する認知・感情反応との関連性	○荒井　崇史 吉田　富二雄	筑波大学大学院・日本学術振興会 筑波大学大学院
P05-14	環境配慮型モビリティに関する態度分析	○太田　裕之 藤井　聡 西村　良博 小塚　みすず	東京工業大学大学院 東京工業大学大学院 (株)豊田中央研究所 (株)豊田中央研究所
P05-15	鉄道車両内迷惑行為の対人相互関係に関する情報提供による態度変容分析に関する研究	○柳田　穣 谷口　綾子 藤井　聡	筑波大学 筑波大学 東京工業大学大学院
P05-16	防止メッセージと記述的規範が社会的迷惑行為と感情に及ぼす効果	○油尾　聡子 吉田　俊和	名古屋大学大学院 名古屋大学大学院

ポスター発表　第２日　11月３日（月）

ポスター発表５（大ホール１）　9：00〜10：30

在席責任時間　奇数番号　9：00〜9：45　偶数番号　9：45〜10：30

P05-17	女子大生が考える“少女”のような容姿	○永田　麻里子 児玉　好信	共立女子短期大学 共立女子短期大学
P05-18	死別体験後のストレッサーに関する一考察 ― 大学生を対象として ―	米田　朝香	東海大学
P05-19	TABLE FOR TWO への参加を規定する諸要因について	田中　優	大妻女子大学
P05-20	不登校の子どもを持つ親のサポートグループ ― 参加者へのインタビュー分析と参与観察から心理的成長プロセスを考える ―	○伊藤　隆 髙木　修	関西大学大学院 関西大学
P05-21	未就学児をもつ母親の育児ストレスを軽減させる支援策の検討 ― 母親としての能力に対する自信とソーシャル・サポートに着目して ―	○山中　淑子 髙木　修	関西大学大学院 関西大学
P05-22	地域における子どもの人間関係と安全意識	○坂西　友秀 王　晨	埼玉大学 埼玉大学

ポスター発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

ポスター発表 6 （大ホール 2） 9 : 00〜10 : 30

在席責任時間　奇数番号　9 : 00〜9 : 45　偶数番号　9 : 45〜10 : 30

P06-1	オンラインゲームがプレイヤーの社会性に及ぼす影響 (1) — パネル調査による検討 —	○松尾　由美 田島　祥 瓜生　恭子 坂元　章	お茶の水女子大学・日本学術振興会 お茶の水女子大学・日本学術振興会 お茶の水女子大学 お茶の水女子大学
P06-2	オンラインゲームがプレイヤーの社会性に及ぼす影響 (2) — 実験による検討 —	○田島　祥 松尾　由美 瓜生　恭子 坂元　章	お茶の水女子大学・日本学術振興会 お茶の水女子大学・日本学術振興会 お茶の水女子大学 お茶の水女子大学
P06-3	社会関係資本に対するメディア効果の探索的検討 — ニューラルネットワークモデルによるアプローチ —	柴内　康文	同志社大学
P06-4	就職活動における社会的リアリティの形成過程 (2) — 人生におけるターニングポイントでのインターネットの働き —	○川上　善郎 川浦　康至 柴内　康文	成城大学 東京経済大学 同志社大学
P06-5	SNS (Social Networking Service) の利用と孤独恐怖の関連性の検討	○齋藤　由夏 長内　優樹	東京国際大学大学院 大正大学大学院
P06-6	課題達成型協調作業におけるテレビ電話の役割	新井田　統	KDDI 研究所
P06-7	知識共有コミュニティを創り出す人たち (6) 第 2 回調査データの分析：仮説モデルの検証に向けて	○三浦　麻子 川浦　康至 大川　英哉 竹内　美尋 地福　節子 岡本　真	神戸学院大学 東京経済大学 ヤフー（株） ヤフー（株） ヤフー（株） ヤフー（株）
P06-8	PeerCast を利用したオンライン個人放送局とコミュニティ形成	馬場　大輔	東京経済大学大学院

ポスター発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

ポスター発表 6 （大ホール 2） 9 : 00〜10 : 30

在席責任時間　奇数番号　9 : 00〜9 : 45　偶数番号　9 : 45〜10 : 30

P06-9	「24 時間テレビ　愛は地球を救う」の分析 (1) — 2007 年放送番組の内容分析結果より —	山本　明	中部大学
P06-10	投票日直前における政治情報行動の効果 — 2007 年参院選時のウェブパネル調査の分析 —	小林　哲郎	国立情報学研究所
P06-11	インターネット上の情報探索行動の類型化の試み	○新井　範子 植竹　朋文	専修大学 専修大学
P06-12	インターネット調査における非デモグラフィック・バイアスの検討	渡辺　庸人	一橋大学大学院
P06-13	小中学校の総合的学習における「学習のネットワーク」の構築 — ウェブ情報発信ソフト NOTA を活用した学習環境のデザイン —	中村　雅子	武蔵工業大学
P06-14	ペットロスに関する質的研究 — ネットにみる「喪の仕事」—	松田　光恵	くらしき作陽大学
P06-15	「リストカット」をテーマとした，セルフヘルプグループの性質をもつオンラインコミュニティの効果	砂谷　有里	明治学院大学大学院

ポスター発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

ポスター発表 6 （大ホール 2） 9 : 00〜10 : 30

在席責任時間　奇数番号　9 : 00〜9 : 45　偶数番号　9 : 45〜10 : 30

P06-16	Positive Community と Negative Community における発言の比較 携帯小説「恋空」に関する掲示板	小保方　大輔	東京経済大学大学院
P06-17	メディア接触と社会問題に対する意見および意見分布の認知との関連	○佐久間　勲 八ッ橋　武明	文教大学 文教大学
P06-18	政治知識が政策認知に及ぼす影響	山田　一成	法政大学
P06-19	テレビ討論が二大政党化に及ぼす効果について	○大槻　芽美子 堀内　勇作 小林　哲郎 曽根原　登	総合研究大学院大学 オーストラリア国立大学クロフォード経済政治研究大学院 国立情報学研究所 国立情報学研究所
P06-20	テレビ視聴が伝統的価値観に与える影響	森　有人	一橋大学大学院
P06-21	犯罪報道が予測犯罪発生件数および予測犯罪被害率に及ぼす影響	○堀内　由樹子 坂元　章	お茶の水女子大学大学院 お茶の水女子大学
P06-22	「いじめ」現象の報道と論評に対する言説分析と解釈の試み	八ッ塚　一郎	熊本大学

ポスター発表　第２日　11月３日（月）

ポスター発表７（大ホール１）　10：45〜12：15

在席責任時間　奇数番号　10：45〜11：30　偶数番号　11：30〜12：15

P07-1	関係予期が他者評価における相補性に及ぼす影響	矢田　尚也	大阪市立大学大学院
P07-2	イメージの視点が自己・他者予測における勇気の錯覚に及ぼす影響	小森　めぐみ	一橋大学大学院
P07-3	初対面の他者との相互作用の予期の有無が連続行動観察時の対人情報の処理内容に及ぼす影響	笹山　郁生	福岡教育大学
P07-4	慈悲的性差別への接触が課題遂行量に与える影響	○山本　雄大 小松　さくら 大渕　憲一	東北大学大学院 同志社大学大学院 東北大学大学院
P07-5	非意識的抑制動機がステレオタイプ抑制に及ぼす効果	○田戸岡　好香 村田　光二	一橋大学大学院 一橋大学大学院
P07-6	在日朝鮮人に対する顕在的/潜在的偏見	髙　史明	東京大学大学院
P07-7	他者の視線が性役割ステレオタイプの想起可能性に及ぼす影響	○野寺　綾 唐沢　かおり	日本福祉大学 東京大学

ポスター発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

ポスター発表 7 （大ホール 1） 10 : 45〜12 : 15

在席責任時間　奇数番号　10 : 45〜11 : 30　偶数番号　11 : 30〜12 : 15

P07-8	対人葛藤場面での責任帰属とマインド・リーディング 加害者－被害者の相互推測のズレに注目して	○池上　知子 大原　真澄	大阪市立大学大学院 かんでん CS フォーラム
P07-9	「幸運」は共同作業で分散するか？ ― 運に関する統制感の研究　その 6 ―	村上　幸史	神戸山手大学
P07-10	規範的行動場面における意図推論に関する研究 ― Is virtue its own reward？―	○上原　依子 大坊　郁夫	大阪大学大学院 大阪大学大学院
P07-11	感嘆のことばに込めた意図の透明性の錯覚 ― 視覚的手がかりの有無による影響の検討 ―	○武田　美亜 瀧澤　純	東洋大学 首都大学東京大学院
P07-12	対象移動課題における発話の自己中心的解釈	瀧澤　純	首都大学東京大学院
P07-13	ライバルの対人関係次元上の位置づけに関する研究 (2)	太田　伸幸	中部大学
P07-14	育児中の夫婦はお互いの育児ストレスを正しく認識するか	○勝谷　紀子 亀山　晶子 坂本　真士	日本大学大学院 日本大学大学院 日本大学

ポスター発表　第２日　11月３日（月）

ポスター発表７（大ホール１）　10：45〜12：15

在席責任時間　奇数番号　10：45〜11：30　偶数番号　11：30〜12：15

P07-15	犯罪プライミングが防衛動機に及ぼす影響	○小林　麻衣 北村　英哉	東洋大学大学院 東洋大学
P07-16	テレビゲームキャラクターの顔認知 ― 事象関連電位を指標として ―	○玉宮　義之 開　一夫	東京大学大学院 東京大学大学院
P07-17	「高い身体能力」から「低い知的能力」を推論するか？ 「強いスポーツ留学生」受入場面での検討	村田　光二	一橋大学大学院
P07-18	「食」が外国人イメージに及ぼす影響の検討 ― 日本・中国・イタリアの比較から ―	○渡邊　さおり 村田　光二	一橋大学大学院 一橋大学大学院
P07-19	偏見抑制動機が障害者に対する潜在的態度に及ぼす効果の検討	栗田　季佳	京都大学大学院
P07-20	意見の相違がステレオタイプ活性に及ぼす影響	本島　正人	東洋大学大学院
P07-21	若者における一人称への意味づけに関する検討 (5) ― 若者カテゴリの知覚に伴って生じる若者カテゴリへの同化 ―	○大和田　智文 下斗米　淳	専修大学 専修大学

ポスター発表　第２日　11月３日（月）

ポスター発表８（大ホール２）10：45〜12：15

在席責任時間　奇数番号　10：45〜11：30　偶数番号　11：30〜12：15

P08-1	反芻が後悔情動と責任の帰属に及ぼす影響	八田　武俊	岐阜医療科学大学
P08-2	社会的適応との関連から見た罪悪感と恥の区別化	浅野　徹	大阪市立大学大学院
P08-3	結果の主観的見込みの質と結果への考え方が自己向上の動機づけに及ぼす影響	○小池　芙美代 土田　昭司	関西大学大学院 関西大学
P08-4	後悔は衝動買いをやめさせられるか？：制御資源と後悔想起が衝動買いの抑制に及ぼす効果	○道家　瑠見子 村田　光二	一橋大学大学院 一橋大学大学院
P08-5	目標の階層性と達成可能性が感情予期に及ぼす影響	○田中　知恵 村田　光二 道家　瑠見子	昭和女子大学 一橋大学大学院 一橋大学大学院
P08-6	制御焦点関連の感情が目標と方略の変容に与える影響	○竹橋　洋毅 唐沢　かおり	名古屋大学 東京大学
P08-7	計画錯誤における達成動機づけと時間的距離感の効果 ― 解釈レベル理論からの検討 ―	○樋口　収 埴田　健司 藤島　喜嗣	一橋大学大学院 一橋大学大学院 昭和女子大学大学院
P08-8	地震災害に対するネガティブ感情・リスク認知と感情予測	○野田　理世 元吉　忠寛	吉備国際大学 名古屋大学大学院

ポスター発表　第２日　11月３日（月）

ポスター発表８（大ホール２）10：45〜12：15

在席責任時間　奇数番号　10：45〜11：30　偶数番号　11：30〜12：15

P08-9	存在論的恐怖が友人の肯定的働きかけの記憶に及ぼす影響：時間的距離に着目した検討	脇本　竜太郎	安田女子大学
P08-11	恋愛における嫉妬の決定要因としての統制可能性	○Nobuhiko Goto Masakatsu Ono Junko Tanaka	名古屋大学大学院 Minnesota State University Stanford University
P08-12	道徳ジレンマ・シナリオ再考：不道徳な行為の受益者の効果	○習田　明宏 大坪　庸介	神戸大学大学院 神戸大学大学院
P08-13	Theory of planned behavior を用いた大学生の学習意思決定の検討	小澤　拓大	専修大学大学院
P08-14	感謝の構造 (2) ― 下位感情の構造の解明と生起状況との関連 ―	○蔵永　瞳 樋口　匡貴	広島大学大学院 広島大学大学院
P08-15	ポジティブ気分が会話行動に与える影響	○藤原　健 大坊　郁夫	大阪大学大学院 大阪大学大学院

ポスター発表　第２日　11月３日（月）

ポスター発表８（大ホール２）10：45〜12：15

在席責任時間　奇数番号　10：45〜11：30　偶数番号　11：30〜12：15

P08-16	感情表出に対する態度が怒りの制御方略使用に及ぼす影響 ― 親密な二者関係における検討 ―	○吉田　琢哉 高井　次郎 吉田　俊和	名古屋大学大学院 名古屋大学大学院 名古屋大学大学院
P08-17	対人関係形成の各段階に重要なスキルの構成と動機的側面について ― 基本スキルならびに個人・社会志向性との関連 ―	水野　邦夫	帝塚山大学
P08-18	大学生における領域固有的無気力の性差に関する研究	長内　優樹	大正大学大学院
P08-19	対人的－個人的状況における後悔：Situation Sampling を用いた検討	○小宮　あすか 宮本　百合 渡部　幹 楠見　孝	京都大学・日本学術振興会 ウィスコンシン大学 早稲田大学 京都大学
P08-20	偽善動機づけが反社会的行動に及ぼす影響 ― コスト脅威の知覚に注目して ―	○上原　俊介 中川　知宏 古畑　麻紗子 船木　真悟 長崎　芙美	東北大学大学院 東北福祉大学 静岡大学大学院 東北大学大学院 東北大学大学院
P08-21	屈辱感・羞恥感・罪悪感の構造	薊　理津子	聖心女子大学大学院
P08-22	自己・他者志向的動機の調整・統合過程への探索的研究 (8) ― 努力の理由の実際と理想の関係 ―	伊藤　忠弘	学習院大学

ポスター発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

ポスター発表 9 （大ホール 1） 13 : 45〜15 : 15

在席責任時間　奇数番号　13 : 45〜14 : 30　偶数番号　14 : 30〜15 : 15

P09-1	非現実的楽観性，楽観的説明スタイル，属性的楽観性と心理的適応との関係	伊澤　冬子	上智大学大学院
P09-2	羞恥心・罪悪感と自己概念の相互独立性/相互協調性との関連 (2)	○塩谷　尚正 土田　昭司	関西大学大学院 関西大学
P09-3	怒り感情が潜在的自己評価に及ぼす影響	○佐々木　香織 工藤　恵理子 江島　瞳	首都大学東京大学院 東京女子大学 伊藤園
P09-4	自己評価への脅威が平均以上効果に及ぼす影響 (3) ― 脅威経験時期と状態自尊心の変化を考慮して ―	○田端　拓哉 池上　知子	大阪市立大学大学院 大阪市立大学大学院
P09-5	焦点化された自己検索が計画錯誤に及ぼす影響と時間的距離感による調整効果	藤島　喜嗣	昭和女子大学大学院
P09-6	高齢者・若年者の潜在的・顕在的自尊心と社会的適応の関係	○小林　知博 平井　啓 藤田　綾子	神戸女学院大学 大阪大学 大阪大学
P09-7	自己と他者に関する特性情報間の認知的リンク	福島　治	新潟大学
P09-8	自尊心の高低と安定性が死の顕現化状況において親和動機に及ぼす影響	儀武　由紀子	東洋大学大学院

ポスター発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

ポスター発表 9 （大ホール 1） 13 : 45〜15 : 15

在席責任時間　奇数番号　13 : 45〜14 : 30　偶数番号　14 : 30〜15 : 15

P09-9	自己受容感と身体不満足感との関連 ― 中等教育段階における女子の場合 ―	○西木場　容子 生野　桂子	鹿児島大学 帝京大学
P09-10	大学生の就職活動に対する自己効力感 ― 実際の就職活動との関係 ―	○太田　さつき 田畑　智章 岡村　一成	東京富士大学 東京富士大学 東京富士大学
P09-11	就職活動での自己呈示に影響を与える要因の検討 (3) ― ポジティブな側面のアピールについての検討 ―	小島　弥生	埼玉学園大学
P09-12	オープナー・スキル尺度の作成と妥当性検討 2 ― 確証的因子分析，友人関係および被開示度との関連 ―	堀内　孝	岡山大学大学院
P09-13	親密な友人関係における自己開示の抑制	○黄　佳 有倉　巳幸	鹿児島大学大学院 鹿児島大学
P09-14	大学生における衝撃的体験開示時の開示者の欲求と被開示者の反応 体験からの経過期間および悲嘆反応の強度との関連	○畑中　美穂 松井　豊	名城大学 筑波大学
P09-15	課題失敗時のセルフ・ハンディキャッピング帰属の機能 ― 異なる 2 つのライフ・タスク場面の比較 ―	○丸本　奈央 高木　修	関西大学大学院 関西大学
P09-16	「社会的かしこさ」に関する研究 (11) ― しつけ・学校生活経験・地域の教育力との関連 ―	○久光　達也 岩淵　千明	川崎医療福祉大学大学院 川崎医療福祉大学
P09-17	「社会的かしこさ」に関する研究 (12) ― 性役割・就業動機との関連 ―	○岩淵　千明 久光　達也	川崎医療福祉大学 川崎医療福祉大学大学院

ポスター発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

ポスター発表 9 （大ホール 1） 13 : 45〜15 : 15

在席責任時間　奇数番号　13 : 45〜14 : 30　偶数番号　14 : 30〜15 : 15

P09-18	出る杭は打たれる？：「ふつう」からみた分配行動	○黒石　憲洋	日本教育大学院大学
		佐野　予理子	国際基督教大学
P09-19	公正なる世界観と社会階層が一般的信頼に及ぼす影響	○熊　美里	広島大学大学院
		深草　茉李	広島大学大学院
		浦　光博	広島大学大学院
P09-20	不適切な援助をした援助者の行動責任について — 個人的援助行動と組織的援助行動との相違 —	松浦　均	中部大学
P09-21	慢性疾患患者の家族の心的過程 — 死別体験後の Unfinished Task の継時的変化に焦点をあてて —	○佐藤　貴之	関西大学大学院
		髙木　修	関西大学
P09-22	大学生における友人関係の親密化過程に関する研究 — 回想的調査面接による探索的検討 —	○渡邉　舞	北星学園大学大学院
		今川　民雄	北星学園大学
P09-23	夫婦関係におけるコミットメントの規定因の検討：配偶者に対する理想と現実のギャップと制御焦点の見地から	○齋藤　典明	関西大学大学院
		中西　美樹子	関西大学大学院
		森川　愛	関西大学大学院
		伊勢野　綾	加古川法律事務所
		川西　真理奈	関西大学大学院
		里内　洋介	関西大学大学院
		佐藤　貴之	関西大学大学院
		池内　裕美	関西大学

ポスター発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

ポスター発表 10 （大ホール 2） 13 : 45〜15 : 15

在席責任時間　奇数番号　13 : 45〜14 : 30　偶数番号　14 : 30〜15 : 15

P10-1	大学生の友人関係における消極的関係維持 (1)	○高木　邦子 安藤　史高	聖隷クリストファー大学 一宮女子短期大学
P10-2	大学生の友人関係における消極的関係維持 (2)	○安藤　史高 高木　邦子	一宮女子短期大学 聖隷クリストファー大学
P10-3	愛着スタイルと自己成長過程に関する検討	山影　有利佐	筑波大学大学院
P10-4	親密な人間関係と嫉妬 ― 拒絶の敏感さが嫉妬反応に及ぼす影響 ―	○長崎　芙美 上原　俊介 大渕　憲一	東北大学大学院 東北大学大学院 東北大学大学院
P10-5	依存と問題行動 ― 気になる母親のタイプと中学生の不適応の状態 ―	緒方　宏明	平成音楽大学
P10-6	友人関係における対人葛藤方略と共感志向・システム志向との関連	○小松　さくら 大渕　憲一	同志社大学大学院 東北大学大学院
P10-7	友人関係における自己評価維持傾向 ― 拡張自己評価維持モデルからの検討 ―	下田　俊介	東洋大学大学院

ポスター発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

ポスター発表 10 （大ホール 2） 13 : 45〜15 : 15

在席責任時間　奇数番号　13 : 45〜14 : 30　偶数番号　14 : 30〜15 : 15

P10-8	恋愛関係崩壊時の話し合い方略とその効果 (3) ― 話し合い方略の効果と失恋ストレス ―	牧野　幸志	摂南大学
P10-9	大学新入生の対人関係能力に関する探索的研究	○石井　滋	大阪国際大学
		谷口　淳一	大阪国際大学
		加藤　潤三	大阪国際大学
		青野　明子	大阪国際大学
		小牧　一裕	大阪国際大学
		森上　幸夫	大阪国際大学
		山野　晃	大阪国際大学
P10-10	なぜ人はユーモアを感じさせる言動をとるのか？	○塚脇　涼太	広島大学大学院
		樋口　匡貴	広島大学大学院
		深田　博己	広島大学大学院
P10-11	自己効力感と達成動機が社会的スキルに及ぼす影響	○邵　木子	大阪大学大学院
		大坊　郁夫	大阪大学大学院
P10-12	恋愛関係崩壊後の関係形成に影響を及ぼす要因について (2)	○山口　司	北星学園大学大学院
		今川　民雄	北星学園大学
P10-13	日常会話と恋愛関係満足度との関連	○朝川　明男	日本大学大学院
		鎌田　晶子	文教大学
		岡　隆	日本大学
P10-14	友人つきあい行動とセルフモニタリングの関連 ― 友人関係の親密化に寄与する友人つきあい行動の検討 ―	○高木　麻未	関西大学大学院
		髙木　修	関西大学

ポスター発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

ポスター発表 10 （大ホール 2） 13 : 45〜15 : 15

在席責任時間　奇数番号　13 : 45〜14 : 30　偶数番号　14 : 30〜15 : 15

P10-15	大学生のライバル観に関する研究	吉野　真央	学習院大学大学院
P10-16	相手のことをよく知っているほど魅力的に感じるか — 同性友人における熟知性が相手の魅力に与える影響 —	○西浦　真喜子 大坊　郁夫	大阪大学大学院 大阪大学大学院
P10-17	結婚相手の好みに関する検討	大薗　博記	京都大学大学院
P10-18	ソーシャルスキル教育を取り入れた文化学習の心理教育的セッション — AUC-GS 学習モデルの構成単位ごとにみた参加者の反応 —	○中島　美奈子 田中　共子	岡山大学 岡山大学
P10-19	若者における高齢者との対人関係のためのソーシャルスキル — 段階的質問紙調査と面接調査に基づく学習試案への示唆 —	○田中　共子 幾田　俊裕	岡山大学 (株)ケイズ
P10-20	受け手の抑うつと関連するサポート要因の検討 — 個人特性とサポート環境，サポート提供者への認知から —	○亀山　晶子 坂本　真士 岡　隆	日本大学大学院 日本大学 日本大学

ポスター発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

ポスター発表 10 （大ホール 2） 13 : 45〜15 : 15

在席責任時間　奇数番号　13 : 45〜14 : 30　偶数番号　14 : 30〜15 : 15

P10-21	恋愛関係が首尾一貫感覚に及ぼす影響 (2) ― ソーシャル・サポートの個人内・個人間プロセスの観点から ―	○浅野　良輔 大坊　郁夫	大阪大学大学院 大阪大学大学院
P10-22	関係の暗黙理論 (ITRs) と恋愛関係崩壊からの立ち直りとの関連	○山下　倫実 坂田　桐子	流通経済大学 広島大学大学院
P10-23	在日中国人留学生の対人関係に関する事例分析的研究 ― 日本人大学生との関係成立困難の機序を探る ―	○迫田　裕子 児玉　美里 田中　共子	岡山大学 岡山大学 岡山大学
P10-24	青年期における恋愛関係の発達段階をアタッチメントから特定する試み	○片岡　祥 園田　直子	久留米大学大学院 久留米大学
P10-25	対人ストレスに悩んでいる人への相談・助言やなぐさめの効果 ― 対人ストレスにおける否定的感情の質的違いに注目して ―	髙橋　幸子	筑波大学大学院
P10-26	過去のサポート提供の想起が，将来のサポート受け取り時の負担感の予期に及ぼす影響 (2)	古俣　誠司	東京都立大学大学院

ポスター発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

ポスター発表 11　（大ホール 1）　15 : 30〜17 : 00

在席責任時間　奇数番号　15 : 30〜16 : 15　偶数番号　16 : 15〜17 : 00

P11-1	遺伝子組み換え技術に対する態度とその規定因 ― 実在する生物を対象とした検討 ―	○豊沢　純子 唐沢　かおり 戸田山　和久	大阪教育大学 東京大学 名古屋大学
P11-2	送り手のコミュニケーション特徴が説得効果に及ぼす影響	○横山　ひとみ 大坊　郁夫	大阪大学大学院 大阪大学大学院
P11-3	情報源による AIDS 情報の効果のちがい ― HIV 感染者・AIDS 患者との共生行動に関わる要因を指標として ―	○高本　雪子 深田　博己	広島大学大学院 広島大学大学院
P11-4	被説得者との関係性が説得者の意識に与える影響	原　奈津子	就実大学
P11-5	初対面時のコミュニケーションに及ぼすユーモアのセンスの効果 ― コミュニケーション場面の他者評価を用いて ―	○市橋　暢彦 山田　冨美雄	大阪人間科学大学大学院 大阪人間科学大学
P11-6	携帯メールにおける非言語コミュニケーション効果	濱　保久	北星学園大学
P11-7	携帯電話を利用したテキストメッセージによるコミュニケーションに関する研究	○石川　真 平田　乃美	上越教育大学大学院 白鴎大学
P11-8	携帯電話の使用が家族・友人関係に及ぼす影響 (1) ― パネル調査による因果関係の推定 ―	○赤坂　瑠以 平野　春花 坂元　章	お茶の水女子大学大学院 お茶の水女子大学 お茶の水女子大学

ポスター発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

ポスター発表 11　（大ホール 1）　15 : 30〜17 : 00

在席責任時間　奇数番号　15 : 30〜16 : 15　偶数番号　16 : 15〜17 : 00

P11-9	親密他者とのコミュニケーションにおける携帯テレビ電話利用	○川浦　康至 三浦　麻子 新井田　統	東京経済大学 神戸学院大学 KDDI 研究所
P11-10	ネガティブ・フィードバックによるフェイス脅威と文化 — 日中韓米データを用いた検討 —	繁桝　江里	山梨学院大学
P11-11	エコツアーの語りにみる環境の学び (5) — 語りの関係性と学びの「主体」—	文野　洋	東京都立大学
P11-12	社会的スキルが対人関係場面における被服選択と着装感情に及ぼす影響 — ACT とネットワーク調整スキル，被服による印象管理に着目して —	○中川　由理 髙木　修	関西大学大学院 関西大学
P11-13	高齢女性の装い志向性に関連する心理的要因	○安藤　理美 長田　久雄	山野美容芸術短期大学 桜美林大学大学院
P11-14	化粧行動と自己愛の関連性	○小栗　亜耶乃 髙木　修	関西大学大学院 関西大学
P11-15	子どもの装い意識と行動の検討 (1) — 小学生の被服機能に関する意識と行動との関連について —	箱井　英寿	大阪人間科学大学
P11-16	市民間でのリスク情報の伝達内容を規定する要因	○辻川　典文 土田　昭司 小池　芙美代 谷垣　俊彦 長岡　豊	関西大学大学院 関西大学 関西大学大学院 (株)原子力安全システム研究所 (株)原子力安全システム研究所

ポスター発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

ポスター発表 12 （大ホール 2） 15 : 30〜17 : 00

在席責任時間　奇数番号　15 : 30〜16 : 15　偶数番号　16 : 15〜17 : 00

P12-1	高齢者の「めったに会えない友人関係」の探索的研究 (1)	丹野　宏昭	筑波大学大学院
P12-2	女子大生における Binge Eating の生起要因に関する一考察 — Stice の「二重経路モデル」の追試研究 —	幸田　紗弥華	聖心女子大学大学院
P12-3	社会的規範の知覚と迷惑行動の関連 (3) — 予測力の優位性に関する縦断的検討 —	高木　彩	厚生労働省
P12-4	自殺手段選択への影響要因に関する一考察	○赤塚　肇 村越　暁子	(財)鉄道総合技術研究所 (財)鉄道総合技術研究所
P12-5	公衆場面での化粧行動 — 行為者の世代・化粧の程度に着目した検討 —	塩田　真友子	岡山大学大学院
P12-6	血液型性格判断はなぜすたれないのか	山下　玲子	武蔵大学
P12-7	制限環境下における自由時間活用/休息スキル — 試験勉強期間における「とき・から法」を用いた自由記述分析 —	○片山　美由紀 安藤　清志 泊　真児	東洋大学 東洋大学 大妻女子大学

ポスター発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

ポスター発表 12 （大ホール 2） 15 : 30〜17 : 00

在席責任時間　奇数番号　15 : 30〜16 : 15　偶数番号　16 : 15〜17 : 00

P12-8	大都市住民のコミュニティ意識と地域での人間関係づくりおよびまちづくり活動への参加との関連性について	石盛　真徳	京都光華女子大学
P12-9	サッカーの経験がサッカーの好みに及ぼす影響 — ジェンダー・フリー保育の観点から —	青野　篤子	福山大学
P12-10	高校生の社会参加意識	○森永　康子 横田　恵子 北山　夕華 川村　暁雄 米田　真澄 村田　幸代 安藤　由香 古庄　高	神戸女学院大学 神戸女学院大学 大阪大学大学院 チュラロンコン大学 神戸女学院大学 龍谷大学大学院 神戸女学院大学 神戸女学院大学
P12-11	成人の自殺念慮に影響を及ぼす要因の検討	○相羽　美幸 松井　豊 吉川　武彦 松本　俊彦 立森　久照	筑波大学 筑波大学 中部学院大学 国立精神・神経センター 国立精神・神経センター
P12-12	加害行為と加害者についての大学生の評価と加害者との関わり方 — 加害動機，被害程度，再犯頻度を規定因とした検討 —	○堀内　亜希 髙木　修	関西大学大学院 関西大学
P12-13	環境問題におけるステークホルダー間の責任帰属認知が住民の環境配慮行動に及ぼす影響 〜赤土流出問題をめぐる農業・漁業・一般住民の比較〜	○加藤　潤三 野波　寛 中谷内　一也	大阪国際大学 関西学院大学 帝塚山大学
P12-14	精神的，身体的健康の規定因としてのコントロール感と社会参加	石黒　格	弘前大学

ポスター発表　第 2 日　11 月 3 日（月）

ポスター発表 12 （大ホール 2） 15 : 30〜17 : 00

在席責任時間　奇数番号　15 : 30〜16 : 15　偶数番号　16 : 15〜17 : 00

P12-15	祖父母との関係が大学生の高齢者意識に及ぼす影響 (3) — 母親の高齢者意識からの検討 —	○水上　喜美子 岩淵　千明	仁愛大学 川崎医療福祉大学
P12-16	前期高齢者の Productive Role と Productive Role Identity が心理的 well-being に与える影響 — 横断的検討 —	○中原　純 藤田　綾子	大阪大学大学院・日本学術振興会 大阪大学大学院
P12-17	高校生の喫煙，飲酒，薬物乱用におけるライフスタイル要因の検討	○三好　美浩 吉本　佐雅子 勝野　眞吾	兵庫教育大学 鳴門教育大学 兵庫教育大学
P12-18	相互に学び合う学級づくりと教師の指導 〜「自由発言」という授業実践とその効果〜	石田　靖彦	愛知教育大学
P12-19	地域循環型社会の形成に関する研究 — その 5 — 地域資源の利活用と住民－行政の協働	仁科　信春	福岡工業大学
P12-20	環境に対する態度と責任帰属 内モンゴル自治区フフホト市の住民調査から	○坂本　剛 石橋　健一 高間　剛	名古屋産業大学 名古屋産業大学 Stockholm Environment Institute
P12-21	大学生のうつ病治療の認知 — 自由記述データの分析 —	○奥村　泰之 岡　隆 坂本　真士 勝谷　紀子	日本大学大学院 日本大学 日本大学 日本大学大学院

日本社会心理学会第 49 回大会賛助団体御芳名

＜広告・展示＞

㈱北大路書房

教育応用心理研究所

㈱サン・エデュケーショナル

㈱誠信書房

㈱ナカニシヤ出版

ブレーン出版㈱

㈱北樹出版

㈱有斐閣

（五十音順）

本大会を開催するにあたり，上記各企業より多大なご支援をいただきました。ここにその御芳名を記して，心から感謝の意を表します。

2008 年 10 月

日本社会心理学会第 49 回大会準備委員会

委員長　井上　佳朗

日本社会心理学会第 49 回大会準備委員会

委　員　長　　井上　佳朗（鹿児島大学）

事務局代表　　有倉　巳幸（鹿児島大学）

運 営 委 員

（教員）

神薗　紀幸（志學館大学）　　園田　美保（鹿児島女子短期大学）

（大学院生）

有馬　博幸（鹿児島大学）　　黄　　佳　（鹿児島大学）
川野　梓　（鹿児島大学）　　塩屋　友美（志學館大学）
下津　慶一（鹿児島大学）　　張　　微　（九州大学）
津曲　陽子（九州大学）　　中川　朋子（鹿児島大学）
中野　秀敏（鹿児島大学）　　縄田　健吾（九州大学）
藤下　卓也（九州大学）　　西木場容子（鹿児島大学）
野上　真　（九州大学）　　別府　智仁（鹿児島大学）
増永　忠佳（鹿児島大学）　　松田紗耶香（鹿児島大学）
三上　聡美（九州大学）　　三上　良　（九州大学）
森園明日香（鹿児島大学）　　森田　茜　（九州大学）
吉原　克枝（九州大学）

組 織 委 員

川畑　秀明（鹿児島大学）　　相馬　敏彦（川口短期大学）
西村　太志（広島国際大学）　　古谷嘉一郎（比治山大学）
山口　裕幸（九州大学）　　山下　倫美（流通経済大学）

（五十音順）

日本社会心理学会第 49 回大会プログラム

発行日　2008 年 10 月

発行者　〒890-0065　鹿児島市郡元 1 丁目 20-6
鹿児島大学教育学部　有倉研究室内
日本社会心理学会第 49 回大会準備委員会